
パトリオット（愛国者）が転生する話

パトリオットで国土で愛国者

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パトリオット（愛国者）が転生する話

【Nコード】

N1469Y

【作者名】

パトリオットで国士で愛国者

【あらすじ】

愛国者が日本のために頑張る話。

前に投稿していたもの書きなおしたものです。

妄想の産物であります。

主人公転生する

俺の名前は明智^{あけち} 治^{おさむ}。某国立大学の二年生で今日が20歳の誕生日だ。

いきなりだが、俺は自分の名前が結構好きだ。

明智 治からの「智」の字を取ると「明治」になる。

明治、俺が日本史の中で幕末に続いて好きな時代だ。

吉田松陰、坂本龍馬、高杉晋作の志を継いだ維新の志士たちが、小さな本当に小さな日本を近代化させ列強の仲間入りを果たした時代、司馬遼太郎の「坂の上の雲」の序文がまさに俺が明治時代を好む理由だ。

いろいろな歪みも確かにあったが、それ以上の意義が日本史上でも世界史上であったと思う。

司馬遼太郎といえば、俺は高校生時代、本当に司馬遼太郎にのめり込んでいた。

「竜馬がゆく」、「坂の上の雲」、「国盗り物語」、本当に心躍らせながら読み耽ったものだ。

それが切っ掛けになって世界史、日本史、政治・経済、近現代史に興味をひかれ勉強しだした。

ただ、そのせいわからないが高校時代女子との接触があまりなかった。

男友達ならまあまあいたんだがな・・・。

主に理系奴らだ工学部とか理学部志望の。

そいつらからアニメや漫画を色々薦められて結構はまったりもした。かなりいい奴らだったよ、うん。

お、少々話がそれたか・・・。
そんなこんな青春を経て20歳の誕生日を迎えた俺は友達とお祝
いをした後、帰宅後自宅のベッドで就寝したはずなんだが、気がつ
くと真っ白な空間にいた。

「此処はどこなんだ・・・。俺は家で寝たいはずじゃ・・・。」

「此処が何処かなんて事はどうでもいいことだよ。」

何処からかそんな声がした。

慌てて周りを見渡すが、360度何処を見ても地平線まで白い空間
だ。

人っ子一人いない。

「君に話しかけているこの声が、何処から聞こえてくるなんて事も
どうでもいいことだ。」

ついで言うとなんが誰か知る必要もないよ。

君ただ僕の言うとおりにしてくれればいいだけだ。」

暫く何も聞こえなくなった後に

「単刀直入に言うよ、君をこれから転生させる。
特典は2つだけ、良く考えてね。」

転生？転生といったのか？あの転生か？二次小説とかでよくある。二次創作なら読んだことはあるぞ。薦められて。

確か・・・、えっ、今俺が置かれている状況と全く一致するじゃん。

「そうだよ。

転生する世界はどんな世界でもいいよ。

君が考えつくどんな世界でも無数に存在する平行世界の中には必ず存在するからね。

特典の数は増やしてあげないけど、危険な世界ほど特典の程度も大きくしてあげるよ。」

俺の思考って筒抜けなんだ・・・。

というか、俺は何でこんな現在進行中の摩訶不思議な状況のかなで落ち着いていられるのだろうか。

まあ、俺がそれだけ冷静ってことなんだろう。

「じゃあ、転生する世界はバイオハザードとhell singとひぐらしのなく頃にと魔法少女リリカルなのは、kanon、clannad、けいおんを合わせた世界で歴史は俺のいた世界と変わらない世界でお願いします。

特典は、ルルーシのギアスとガンダム世界の技術すべてでお願いします。」

これぐらい危険な世界を合わせておけば、これぐらいの特典は認めてもらえるよね？

因みに、どっかのオリ主みたいにハーレムを気付くつもりなんて無い。

「へー、魔力無限とか王の財宝とかじゃないんだ。以外だなー。」

いやいや、個人の力なんて組織の前では取るに足りないでしょ。常識的に考えて。

戦場のヒーローになって目立ちたい、崇められたい願望なんて俺にはない。

だいたい魔力無限とか個人技能的な魔法って社会の役に立つものだろうか？

その利益を享受できるのはそいつただ一人じゃないか。

魔法なんかより、普遍性があって万人が享受できる科学技術のほうがいい。

あと、kanonやclannadやけいおんを加えたのはあれだ。例えば、国を防衛することを誇りに思っている自衛官がいたとする。その人が街を歩いていて幸せそうに暮らしている人たちを見たとして、一層やる気が出るだろ。

つまりそういうことだ。

「君なかなか面白いね。

そんじゃいくよー。

あ、ギアスはカメラやモニター、鏡とかを通しては使えない、つまり相手の目を直接見ないと駄目な感じしておくからね。」

俺の意識はそこで途絶えた。

・ ・ ・ ・ ・

俺が意識を取り戻すとそこは、桜の木々の下だった。
それは満開のソメイヨシノだった。

目の前には純和風の家がある。どうやら此処は庭のようだ。

「うっ・・・」

唐突に、猛烈な頭痛と共に頭に情報が入って来た。

どうやらさっきの声の人物からのようだ。

その情報によると、

此処は俺の家で住所は東京都光坂町。

俺は某国立大学院を今年卒業した25歳。

現在平成四年、1992年の4月。

原作開始の時期については

バイオハザードは1998年

hellisingは1999年

ひぐらしのなく頃には1993年は舞台は岐阜県雛見沢

魔法少女リリカルなのは2004年舞台は神奈川県海鳴市

kannonは2006年舞台は北海道札幌市

clannad2007年舞台は東京都光坂町

けいおん2008年舞台は京都府京都市

ガンダム世界の科学知識と技術はこの家にあるパソコンの中に入っている

ということらしい。

光坂町は前の世界にあった瑞穂町とほぼ同じ位置にあるようだ。名前が違うだけみたいだ。

ひぐらしのなく頃には昭和五十八年ではないんだな……。

これらの頭に流れ込んできた情報を整理して俺は取り敢えず一息つこうと縁側から家の中に入り、台所で熱いお茶を入れて縁側で桜を見ながら飲む。

「さて、これからどうするか……。」

まずは、政治に食い込むことなだ。

日本を動かしたいならそうするしか無い。それが常道だ。

二次創作にたまに出てくる自分の力をとにかく後先考えずに誇示したい馬鹿な奴なら特典に浮かれて武装蜂起とかするのかな。

そうだとしたら全く愚かとしか言い用がない。

わざわざ大きな混乱、犠牲を生む方法を取るなど、内戦が起こるだろうし在地米軍や中国だって介入してくるだろう。

ま、それはさておき問題はどうかやって政治家に接触するかだな……。

数日後、光坂町の議員の一人に接触することに成功した。

後援会に連絡して、是非お会いして献金したいといったのだ。

つまりは陳情したいことがあるということだ。アポを取ったのだ。

そこでギアスを掛けた。

「ぜひ町長にお会い出来るように取り計らってもらいたい。」

もちろん相手は快諾。

数日後に役所の町長室で面会する運びとなった。

そして、町長にはこうギアスをかけた。

「都知事にお会い出来るように取り計らってもらいたい。」と

もちろん快諾されたが、都知事ともなるとそうすぐには会えないように数週間待たされることになった。

まあ、そりゃそうだろう。

人口1200万人の日本の首都の首長なんだし。

今は1992年だから都知事は鈴木俊一氏か。なつかしいな。
ん、そういえば新宿の都庁が出来たのもこの頃じゃなかったけ？

平成4年 1992年 5月 11日

今日は都知事との面会の日だ。

現在、仲介役の町長と一緒に町長のセンチュリーで都庁に向かって
いる。

しばらくすると、去年落成したばかりの真新しい新宿の都庁が見えてきた。

そう言えば、「バブルの塔」とかいつて叩かれてたっけ、俺は結構好きなだけだな。

・
・
・
・
・

今、仲介役の町長や秘書には退室してもらって都庁の都知事室で鈴木氏と1対1で面会している。
そしてギアスを掛ける。

「宮沢喜一首相に会えるように取り計らってもらいたい。」

・ ・ ・ ・ ・

平成4年 1992年 7月 1日 首相官邸

首相に会うとなると数ヶ月待たされるかと思ったが、意外と早く会うことが出来た。

都知事と一緒に首相官邸に行き今通された部屋で宮沢首相を待っている。

因みに官邸は昭和に建てられたあの旧官邸だ。新鑑定は21世紀に入ってから立てられたからな。

数十分後宮沢喜一首相が現れた。

俺を見て驚いた顔をしている。そりゃそうだろう。

都知事にあって欲しい人物がいると言われてきたらこんな若造だったんだからな。

宮沢首相の人となりはわからないが、戦前の生まれだしこれだけ歳の差があるのだから挨拶は懇切丁寧に済ませた。

ギアスを掛ける前に怒って退出でもされたらかなわん。

そして、都知事に退室してもらった後ギアスをかけた。

ただ、今回かけたギアスは今までかけてきた内容とは違う。

俺は「私の言うことを何でも聞いてもらいたい」とギアスをかけた。

恐るべき集団主義！と超弩級大規模補正予算

平成4年 1992年 8月 1日

永田町、いや日本に激震が走った。

突如、宮沢喜一首相による衝撃的な内閣改造行われたのだ。

俺が政治に介入しなかった場合に12月に行われていただろう史実通りの内閣改造なら此処まで全国を驚かせることはなかっただろう。

その内閣改造の衝撃的な点の一つは、若干25歳の大学院を卒業したばかりの俺が外務大臣兼通商産業大臣に就任したからだ。

普通なら野党どころか与党からも反発が出るだろうが、与党自民党からは全く反発が出なかった。

それぞれの派閥の上位メンバーにもギアスをかけたからだ。

ギアスの内容はこうだ

まず最初に、「死ぬまで俺に従い続けろ。」といって

「自党から選出された首相を補佐し、日本国の国益を第一に追求し、地元への意図的な利益誘導、私利私欲を捨てろ。」

これによって自民党内では全く反発はなくなったし従来の派閥対立もなくなった。

史実では来年の6月に与党内の造反もあって野党が提出した内閣不信任決議が可決されたが、これで党内の造反により不信任決議が可決されることもないだろう。

「人事は首相の専権事項であるし、首相を支持する。」

各派閥の領袖は口をそろえてそういった。

派閥のトップたちがそういう以上与党内からは全く反発が出なかった。

そして改造内閣の正式な組閣後首相は本会議の演説でこの人事以上の衝撃的な発言をした。

「これより、このバブル崩壊に因る不況を解決する起死回生の超抜本的政策を発表します。

・
・
・

バブル崩壊後のこの平成不況の根本原因は銀行の不良債権であります。

政府としてはそれを解決するために公的資金を注入し、景気対策のために大規模な公共事業政策実施するべきであります。現在我が国には財政的な余裕がありません。

これ以上国債を発行することもはのちの世代への大きな負担となる上に、国債発行でまかなえる金額をはるかに上回る資金が今回必要であります。

故に、今回は国民の協力で今回の経済危機を乗り越えるべきであると私は考えます。

国民の皆さん、皆さんがお持ちの個人資産をぜひ国に無償で提供していただきたい。

ただ、これは強制ではなく任意であります。

現在、国民の皆さんがもつ個人資産の合計は金融資産だけでも約1500兆円、その内の半分の約700兆円だけでも提供していただければ日本経済はよみがえるとお約束いたします。

中間層の方々は提供しなくて結構です、富裕層の方々中心にご協力

願います。」

これまた、野党やメディア、そして海外からも馬鹿馬鹿しい、集まるわけがないと大いに叩かれた。
ま、普通に考えればそうだろう。

だが、集まっちゃうんだなーこれが。

なんせ、7月に首相にギアスを掛けてから俺は首相の後ろ盾を得て不眠不休で全国の個人資産家、大地主、大株主、政治家、高級官僚（汚職をしている場合はギアスで資産の提供だけでなく日本への忠誠、私利私欲ではなく公に尽くすことを命じた）、金持ちの団体（日本医師会、宗教法人、「や」から始まる自営業の方々の集まり、某ギャンブル業界etc）、銀行、企業を回ったのだ。

首相の演説でもあったように中間層にはお願いしていない。

資産の殆どって富裕層が持っているからな、それに中間層から取ったら消費が更に落ち込む。

銀行や企業では頭取や社長重役たちに彼らの個人資産をほぼ譲渡してくれるようにギアスを掛けて回った。

企業や銀行の法人としての資産を取ったら逆効果だ。

銀行は不良債権、企業は業績悪化や貸し渋り、貸し剥がしで資金繰りに困っているのだから。

衝撃の首相の発表の翌日全国から次々と資産の譲渡が行われた。

その額、金融資産だけでなく土地や株式、海外資産を含めて二週間で1200兆円。

首相の発表は国民だけに呼びかけたものだったが、俺はお金持ちの団体の方にもギアスを掛けて回っていたのでこんなにも集まった。中でも一番持っていた団体は宗教法人（宗教法人の中でも一番持っていたのがS学会）とパチンコ業界だった。

いやー、ありがたや、ありたや。

首相の発表から三週間後、最終的な譲渡額の発表が行われた。
その額なんと1500兆円。

この結果に国民だけでなく海外特に欧米からも驚きの声が上がった。

「恐るべき集団主義！」

「我々の国では考えられない！」

「本当に資本主義国か？やっぱり日本は世界で唯一成功した共産主義だ！」

「自主的、しかも富裕層がというのが信じられない！」

「日本人はどれだけ政府を信用しているんだよ！」等々・

首相はこの最終額の発表会見で大して驚いた様子もなく

「国民の皆様大変ありがとうございます。」

と淡々と礼を述べた。

因みに、最終額の発表前の8月15日の終戦記念日には閣僚全員で靖国神社への参拝を行ったのだが、野党と某新聞社に案の定騒がれた。

最終額の発表から数日経った8月中旬

また激震が永田町に走った。今年何回目だろうか？

前日、史実通り自民党最大派閥の有力議員が東京佐川急便事件に関与して5億円を受け取っていたことが新聞で報道されたことを受け首相が会見を開いたのだ。

宮沢喜一首相は「党の一新」・「党の粛正（粛清じゃない）」を掲げて今現在疑惑が持たれている議員のみならず新たに持たれた議員は今後の検察の捜査で判明した事実に基づいて党として重い処分を下すと発表。

これに今回新聞ですっぱ抜かれた某有力議員を含む自民党の全ての派閥と有力議員が同調。

両院議員総会で

「疑惑が持たれている議員若しくは新たに持たれた議員は、積極的に検察の捜査に協力し検察の捜査で判明した事実に基づいて総裁から党としての処分を受けることを甘受する。」
というコンセンサスを形成させた。

翌週、からその有力議員の事情聴取が始まった。

ギアスで命じておいたので洗いざらいゲロしてくれた。最終的に自民党の国会議員・地方議員・首長から10人、社会党からも数人関わっていることが判明し、全員が起訴された。

宮澤首相は10人全員を党からの除名処分を言い渡し、議員辞職勧告を出した。

全員が先のコンセンサスに基づいてこれを受け入れ謝罪し、議員辞職を行った。

党をギアスで纏めていたから擁護派・検察との徹底抗戦派も出るこ
とがなかった。

また今回テレビ業界のトップたちにギアスを掛け、論調を「自民党
バッシング・政治不信を煽るようなもの」から「自民党の自浄能力」
に重きを置くように命じた。

新聞社はそのままにしておいた。

平成4年 1992年 9月 3日

俺は今政府のチャーター便でロシアのモスクワに向かっている。8
月からロシア大統領エリツィンとへ会談を打診していたのだ。

狙いは北方領土、要するに北方領土問題を解決して支持率をあげよ
うということだ。

予想はしていたが、「大院卒の若造が大臣なんぞ」と国内では俺へ
の反発や人事を行った宮澤首相への反発が少くないのだ。先の汚
職事件のこともあるしな。

同日衆議院に

「バブル崩壊を克服するため及び地方格差是正及び日本の新成長分
野育成のための補正予算案」

「中央省庁等改革基本法案」

「特殊法人改革法案」

「改正公職選挙法」

「スパイ防止法」

が提出された。

「バブル崩壊を克服するため及び地方格差是正及び日本の新成長分野育成のための補正予算」の骨子はこうだ

- ・不良債権を抱えた国内の金融機関（住専などのノンバンクも含む）へ総額150兆円公的資金の注入

国内金融機関が保有する約200兆の建設国債を除く国債を今後5年間で一気に償還。

- ・全国新幹線・鉄道網・高速道路網の整備促進などの公共事業100兆円

- ・科学振興・宇宙開発促進総額200兆円

他にもインターネット回線（ISDN）の普及なども盛り込まれて予算総額は655兆円。

これほど莫大な予算を組んだのは、早く市中に資金を戻したかったからだ。

特に金融機関に150兆もの金を注入したのは約60～80兆円と言われる不良債権問題を早期に解消し民間へどんどん資金を貸し出してほしいからだ。

だからそこ国債も一気に召喚することにしたのだ。これで市中の通貨流通量が増えるだろう。

これと連動する形で金融機関の規制緩和を行い、金融機関同士の合併を推奨しメガバンクの形成を促した。

また政府・日銀の金融政策も緩和した。

公共事業では都市と地方の格差を解消するため地方開発と都市開発の両方を推進するものだ。

鹿児島から北海道まで新幹線、全国高速道路網の完全開通を2001年までに開業することを目指している。

科学振興・宇宙開発事業の促進については後述する大日本宇宙科学エネルギー資源開発公社で一元的に行う。
今回の予算200兆円もだいたいこの公社に投じられることになった。

「中央省庁等改革基本法案」の内容はこうだ。

- ・省庁を統廃合し数を縮小

- ・新たに教育庁を部科学省の下に設ける。

- ・科学技術庁は文部科学省傘下のJAXSA（宇宙航空研究開発機構）や日本原子力研究開発機構、理化学研究所などといった科学技術開発系の法人、経済産業省傘下の石油天然ガス・金属鉱物資源機構などのエネルギー資源系法人のと統合して大日本宇宙科学エネルギー資源開発公社とした。これは国営企業で株式の100%を経済産業省大臣が持つ形になる。

- ・防衛庁を防衛省に昇格

・国土交通相傘下だった海上保安庁を省に昇格した防衛省の傘下に移動

・国会公安委員会の情報組織（防諜・諜報）としての機能を強化

中央省庁再編前の1府22省庁

府（1） .. 総理府

省（12） .. 法務省、外務省、大蔵省、文部省、厚生省、農林

水産省、通商産業省、運輸省、郵政省、労働省、建設省、自治省

委員会（2） .. 国家公安委員会、金融再生委員会

庁（8） .. 総務庁、北海道開発庁、防衛庁、経済企画庁、科学技術庁、環境庁、沖縄開発庁、国土庁

←

中央省庁再編後の1府12省庁（国務大臣を置く不省庁が全部で12ということ）

府（1） .. 内閣府

省（11） .. 総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省
庁（1） .. 国家公安委員会―警察庁

「特殊法人改革法案」は増えすぎた特殊法人・国営企業を廃止もしくは民営化・独立行政法人化するものだ。

大雑把に言うところな感じだ

・林野庁の国有林事業は維持

・高速道路公団民営化

・政府系金融機関を日本政策金融公庫に一元化

「改正公職選挙法」は、政治資金規制策や2000年以降選挙のインターネット利用を解禁し、金のかからない選挙を実現するのが骨子だ。

「スパイ防止法」はそのまんま民間の産業スパイ、国家のスパイを区別なく取り締まるためのものだ。

野党から猛反発が出た。特に社会党・共産党が猛反発して国会は大荒れ、連日乱闘が起きたが、与党の一致団結によってすべての法案を約二週間審議で強行採決した。

ロシアより愛をこめて（前書き）

ロシアと言ったら思い浮かんだタイトルです。

ロシアより愛をこめて

1992年 9月5日 午前7時

俺は今モスクワ市内のホテルに居る。

「どうしたものか……。」

そして、新しい懸案事項を少々抱えていた。

昨日は、ようやく長い長い飛行機の旅を終えてロシアに到着し、俺は、記者会見や会談は明日以降の予定なのでホテルへ直行して書類仕事を終えた後就寝した。

此処までいい。だが問題はここからだ。

・ ・ ・ ・

俺は気づくと例の白い空間にいた。

その事実を認識するやいなやあの声が俺の頭に直接伝わってきた。

「やあ、なかなか頑張ってるみたいだね。なかなか楽しませてらってるよ。」

でも、ちょっと上手く行きすぎだと思うんだ。

ということでききなりなんだけど、ギアスを制限させてもらうよ。具体的に言々と外国人にギアスが使えるのは今回の一回だけにする

からね。

後日本人に使えるのも2004年のなのは原作開始までにするから。

それ以降は全く完全に誰にも使えないから気をつけてね。」

そして、俺が口を開いてモノを言う前に俺の意識は覚醒した。いや、覚醒させられたのか？

・
・
・
・

と言うわけだ。

さてどうしたものか？

まあ、此処はこの事実を受け止めた上で次の行動計画を練っていくしか無いな・・・。

カタールから融資を受けたかったのにな・・・。

それから一週間後

1992年 9月12日

ロシア連邦 首都モスクワ クレムリン大統領府 午後8時

現在俺はモスクワのクレムリンにある大統領府で今回の会談の成果を内外のメディアに発表すべく記者会見に望んでいる。

因みに俺は入閣以来ほとんど和服で公務を行なっている。

だから今の俺の格好は紋付袴、紋は俺の家紋じゃなくて1945年

から日本国の紋章として使用されている五七桐花紋だ。

海外じゃ日本文化への関心が高いんだから政府の人間はもうちょっとこういうアピールをしてもいいだろうと思って入閣以来こうし始めたんだが、最近ではすっかり気に入って、プライベートでも和服ばかり着ているんだよな。

お、そうこうしている内にそろそろ会見開始の予定開始時間だろう。懷から懷中時計を出して時間を確認すると予定時刻の一分前だった。それから、秒針がちょうど一周するのを見計らって記者会見を始めた。

「日本国外務大臣 明智治です。

今回のエリツイン大統領との会談の成果を発表したいと思います。

今回、ロシアと我が日本は、現在ロシアが占領している北方領土問題及び千島列島全てを日本に返還し、日本は樺太全土をロシア領として承認することで合意しました。

また、ロシア側がソ連の対日参戦、シベリア抑留、北方領土占領を公式に謝罪した後平和友好条約を結ぶことで同意しました。」

下手くそな如何にも日本人な英語でそう告げた。

見事に会場の全メディアがポカーンとしている。

数秒後、俄に会場がどよめいた。

そしてフラッシュの嵐がいつそう激しくなる。

その気持ちわかる、わかるぞ、多分

「未だにカリニングラードにも居座り、ソ連時代からアメリカに勝るとも劣らずエゴを押し通しまくるあのロシアが謝罪した上に領土返還だなんてそんなまさか・・・。」
とか思っているんだろう。そうだろう。

この会見から2日後、俺は日本に凱旋帰国した。

先の汚職事件には厳しく対処し、歴史的な外交成果も上げた。

そして、テレビにはそれを取り上げさせる。

これで俺の株と首相の支持率も上がるだろう。

ところで、ロシアが対日参戦について謝罪したのだから日本絶対悪史観でソ連（今はロシアだけど）大好きの左翼の人たちは一体どう反応するのだろうか？

たぶん、いそいそと頑張って奇妙奇天烈なロジックを作り上げた上で、自虐史観を維持するのだろうか。

「日本の被害ばかり強調するのではなく、加害の面にも眼を向けるべきです。」ってか？

公社始動

1992年 平成4年 9月 18日

日本に帰って来ました。

メディアと社会党、共産党、左派団体（日教組・日弁連・労組）は先日提出した予算と法案の件で連日大騒ぎでしたが一応長年の国境問題を解決したということで左寄りの新聞でも取り上げてくれました。

テレビは積極的に今回の領土問題解決を取り上げている。

というか、ギアスを使って積極的に取り上げさせている。

テレビでは「政界の麒麟児」と言われっちゃんなんだよね。

いやー恥ずかしいな。

これで少々強権的に進めても歓迎してくる層も少しは出てきただろう。主に保守派から。

俺が日本に帰ってきてから二日後予算と法案は強行採決で可決された。

1992年 平成4年 10月 13日

大日本宇宙科学エネルギー資源開発公社、今年の9月に異例のスピードで成立した補正予算と特別法で成立した日本のエネルギー資源の開発・確保、宇宙開発、科学各分野の基礎・理論研究・技術開発一手に担うを国営企業だ。

この旧科学技術庁、その傘下の多数の特殊法人、独立行政法人、委員会を統合して今日正式に誕生した大日本宇宙科学・エネルギー資源開発公社は経済産業大臣が公社の株の100%を持つというつまり経営権をもつという形になっている。

ということで、経済産業大臣の俺主導で早速公社の方針を策定した。

一つ目は、統合した旧団体の無駄な人員（顧問とか委員）や不必要な土地や建物などの資産は処分だ。
多くの特殊法人、独立行政法人を統合して誕生したから公社としての体が大きすぎる。

unnecessary 部分は削ってスマートにしなければならない。

・エネルギー資源開発部門

・宇宙航空研究開発部門

・生命科学・医学部門

・化学研究部門

・物理学研究部門

・数学研究部門

・スーパーコンピューター研究・開発部門

・海洋研究研究部門

・地質学研究部門

・天文学研究部門

・各境界領域連携研究部門

と11の研究部門を設けてそれぞれの本部と各部門を統括する公社の執行機関を新しく建設する公社本部ビルに入れることにした。

2つ目は、公社本部ビルつまり公社の根拠地の策定。

これについては本部は茨城県つくば市に置きこれから新規に建設する主要研究設備及び機関もつくば市およびその周辺を中心に整備していくことに決定した。

今までも発射後の衛星の管制施設は筑波に置かれていたし、既に筑波大学や多数の官民の研究機関が置かれているつくば市の学園・学術都市という都市計画にも合致する。

（これに伴い、審議段階であったつくばエクスプレスの計画を着工決定として今回の補正予算の公共事業計画に追加で盛り込んだ。）

3つ目はロケット打ち上げを行う宇宙基地の問題だ。

既に、種子島に種子島宇宙センターが整備されているので、それを増強することにした。

ロケット打ち上げにおいては赤道に近いほど地球の自転エネルギーのお陰で燃料の節約ができるので沖縄に新しくロケット打ち上げ基地を整備するという案もあった。

しかし今から用地買収をして施設を整備するのは金と時間がかかりすぎるし、既存の種子島宇宙センターの設備と種子島の道路や港湾などのインフラを増強することで充分今後のロケット打ち上げに対応できるとの見通しが立ったので移転の話は無しになった。

4つ目は海底資源開発だ。

九州鹿児島から紀伊半島の太平洋沖、日本海の海底にはには大量のメタンハイドレートが眠っているとされている。

また日本の排他的経済水域内の海底にはメタンハイドレートの他にもマンガン団塊やコバルト・リッチ・クラストなどの希少資源が大量に埋蔵されている。

しかし、それらの資源は超高圧の深海に存在するため、もしくはその性質のため現在の採掘技術では商業ベースでの採掘が非常に難しい。

故に、採算の取れる採掘技術の開発をすすめるプロジェクトチームを立ち上げ予算を投下した。

5つ目はマストライバーの建設計画だ。

マストライバーは沖縄本島最南端糸満市を建設地として10年後の初打ち上げ目処にしたマストライバー及びその周辺のインフラ整備計画を策定した。

インフラ整備の柱は那覇港などの港湾設備の増強と那覇空港の二本目の滑走路建設及び道路の整備だ。

今はロケット打ち上げが宇宙への移動手段だが、将来の宇宙への輸送の主役はマストライバーや軌道エレベーターだ。

そうなれば、将来確実扱う物流量は増大する。このインフラ整備はそれを睨んでのことだ。

マストライバー施設は関西国際空港のように海上に建造する予定だ。具体的に言うと、海上に人工島を造成し、整備場・ターミナルはそこに建設し、レール部分は長大な距離必要となるから人工島から海上へ向けて栈橋を建設してレールを敷設するのだ。

これは内陸に作るより良い。

なぜなら、内陸に作ると騒音問題が絶対に発生するし、沖縄本島には平地が少なくそこに人口が密集しているので土地買収をすれば絶対に時間とカネがかかるからだ。

下手したら、山まで開かないと土地が足りないかもしれない。

5つ目は軌道エレベーター計画

軌道エレベーターは将来マストライバーと並んで宇宙への輸送手段にする予定だ。

地上側の発着拠点^{アース・ポート}は、ロケット打ち上げ施設やマストライバー同様に赤道に近いほど地球の自転の遠心力のお陰でケーブルにかかる張力を小さくできるので最適である。

また、ケーブルの振動や熱による伸縮への対策、低軌道の人工衛星や大きなスペースデブリとの衝突の回避などのために、アース・ポートは地上に固定するのではなく海上を移動可能なメガフロートとすることが望ましい。

ということで、アースポートは移動可能なメガフロートを沖ノ鳥島周辺の日本の排他的経済水域内場合によってはその付近の公海を状況に応じて移動することを前提としてその海上に設置することにした。

パラオやオーストラリア沖のほうが地理的には最適だったのだが、あそこは日本から離れすぎているし間に他の国がある。ということはシーレーンを維持しにくくなる。

それに、この計画ではこれを機に沖ノ鳥島を物資集積所もしくはアースポートまでの中継地点として整備して、日本の排他的経済水域を維持する上で大事な島であるこの沖ノ鳥島をどんどん開発して島として扱うことを既成事実化するという狙いもある。

日本最南端の島、沖ノ鳥島は、満潮時は島がほとんど水没してしまう殆ど岩のような島であるが、この島のお陰でこの島から半径200海里の日本の排他的経済水域が確保されているのだ。

沖ノ鳥島はサンゴで形成されていてそのなかで満潮時にも海上に顔を出す部分は人が一人立てる程度の広さだが、干潮時に姿を表す環礁を全て埋め立ててしまえば南北約 1.7 km、東西約 4.5 km、周囲約 11 km になる。

これはいささか卑怯な手ではあるが、中国も南沙諸島でやっていた

手だ。

国際社会なんて所詮海千山千の狸共の化かし合いよ。

今此処で島として開発しなければ行く行くは並に侵食されて消えたり、近い将来他国に付け入る隙を与えるだけだ。

6つ目は受精卵段階での遺伝子操作の研究

つまりはコディネーターの研究だ。

他にもi p s細胞、e s細胞、再生医療目的の体細胞クローン技術や幹細胞の研究プロジェクトも立ち上げた。これまで埼玉県和光市や播磨、横濱、神戸にあった理化学研究所のこれらの生命科学系研究所は旧帝大に譲渡して、つくば市ないに大規模研究所を複数整備することにした。

これら6つは全て発表したけど、6つ目の生命技術に関してはコディネーターなどの研究とは明らかにせずただ単に研究所の再編ということだけにした。

海外の特にキリスト教の奴らから騒がれそうだからな。

まあ、機が熟したらいずれ明らかにするけど。

あと、マストドライバーと軌道エレベーターは国内外で少々注目されたけど計画が遠大すぎるとか、100年掛かって出来るかどうか言われた。

まあ、Eカーボンとか超電導体の技術の発表とかはしていないからな。

沖縄の施設も技術開発のための実験施設と発表してたしな。

技術の発表は少なくとも施設が完成して日本がアメリカから自立してからだ。

「未来への投資」と国内外に向けて何回も言い続けた。

アメリカといえば近年アメリカのパパブッシュは日本の市場開放や規制緩和を求めて圧力をかけてきている。

具体的に言うとならば日本の慣行の廃止、土地税制や大規模店舗法、公共投資の拡大などだ。

「公共投資の増大」はこれ以上対日貿易赤字を増やしたくないアメリカが日本に輸出産業の育成ではなく公共投資に金を回せといってきたものだ。

また、世界に流出する多額のジャパン・マネーがドルの影響力を希薄化させていることを懸念し、ジャパン・マネーを日本国内に閉じ込める狙いがあったとも言われる。

今は失効になってるが数年前にはスーパー301条なんてものも作られ日本の国産O S トロンは潰されてしまった。

まあ、アメリカの要望に答えるためじゃないが公共投資は先の補正予算で仕込んだし、市場開放と規制緩和には史実と同じように若干応じることにした。

だが、これ以上は緩和するつもりはない。

仮に緩和するとしても地域の小規模小売店同士で共同で仕入れをさせて価格競争力をつけさせる等の対策を行ってからだ。

史実では大店法は此処を境に年々緩和されて行って全国の商店街が潰れてシャッター通りができていった。そのような事にならないようにするが、消費者の利益も考えて日本風の合理化で価格が下がるようにしないといけない。

例えば、その地域の農家による集団農業を進め農地の大規模化を促進したり、その地域の漁師で大型漁船を共同所有しての漁業の大規模化などだ。

憲法改正に向けて

平成4年 1992年 10月18日 日本国 茨城県 つくば市

今日は公社本部施設の起工式。

俺と首相もちろん出席している。

「えー、皆さん今日はお集まりいただき有り難うございます。

・
・
このつくば市をはじめとし茨城県、千葉県の複数の自治体に集中的に自然科学・先端技術の研究・開発機関を整備し、その各自自治体をつくばエクスプレスで東京まで繋ぐというのが今回、経済産業省及び大日本公社、政府が一体となって策定した計画であります。

そして今日、我が国に最古の和歌集である万葉集にも詠まれ歴史に名高きこの筑波山の麓にあるつくば市に大日本公社の本社施設を起工する事は今回策定した計画の記念すべき第一歩であります。

また、つくばエクスプレス計画のほうも現在滞り無く進んでおり来年から一部区間の着工が見込まれています。

この一連の計画の完遂によって、この地域は理想的な産学官連携のモデルとなるのみならずひいては次世代日本の産業を牽引する非常に重要な・・・・・・」

このあとは関係者への激励や労いを述べて挨拶を締めくくった。

さて、金融機関の不良債権問題も解決したし、公共事業もやっている、国債の一斉償還・金融緩和で市中の通貨流通量も増やした。

次にすべきには、憲法改正だな。

自分たちで自国を防衛できないから日本には米軍基地を置かざるおえないし、米国の強い影響下にある。

このまま防衛の対米依存を続けていては日本の自主的な外交もできないし、宇宙開発を進めていく過程で米国の意向を受けざるおえない事態になるかもしれない。

ということで俺に近い考えを持つ憲法学者を各大学から集めて私設機関として憲法調査会を設けた。

臨時国会もそろそろ閉会するから時間もあることだし年が明ける前の改正案完成を目指して頑張るとするかな。

平成4年 1992年 11月15日 東京都光坂町 明智邸

広い座敷に足が短いテーブルが5つ組み合わされてコの字型に配置されている。

議長の席に座るのはこの会議を主催している俺。

俺の後ろには掛け軸と日本刀が飾られた床の間と壺や本、骨董品が置かれている違い棚がある。

座敷から庭に目をやれば、紅葉したもみじが真っ赤に色づいている。数日前まで、まだ赤になりきれしていない葉も多かったが、今はもうほとんど全ての葉が真っ赤だ。

「それでは第23回憲法調査会を始めます。」

庭の鹿威しが鳴った直後を見計らって会議の始めの言葉を述べた。

「今日は今まで決めた大枠の確認ということですのでよろしいですね。それでは……」

前文 ↓ 全面改訂

第1章 天皇 (第1条～第8条) ↓ 全面改訂
第2章 戦争の放棄 (第9条) ↓ 全面改訂
第3章 国民の権利及び義務 (第10条～第40条) ↓ 一部改定
第4章 国会 (第41条～第64条) ↓ 一部改定
第5章 内閣 (第65条～第75条) ↓ 変更なし
第6章 司法 (第76条～第82条) ↓ 一部改定
第7章 財政 (第83条～第91条) ↓ 変更なし
第8章 地方自治 (第92条～第95条) ↓ 変更なし
第9章 改正 (第96条) ↓ 変更なし
第10章 最高法規 (第97条～第99条) ↓ 変更なし

第一章 天皇 は全面改訂。

天皇を日本国の元首としての地位を明記。

天皇の元首としての地位はイングラント王室の「王は君臨すれども統治せず」に習った立憲君主と規定。

天皇の国事行為にはこれ迄の重要役職の任命の他に祭祀を含むと明記。

英国王が英国国教会の首長であるように、天皇は神道の首長であると明記。

第二章 戦争の放棄 も全面改訂

第二章は「戦争の放棄」から「安全保障」とし

侵略戦争は認めないが自衛戦争は認めると明記し

日本国の独立・自存、日本国民の生命財産を守るために自衛軍を組織すると明記した。

第3章 国民の権利及び義務 は一部改定

幸福追求権を削除して、新しい人権を具体的に明記した。

政教分離規定に関しては、従来の規定に加えて宗教法人による政党の結成の禁止、教義やほかの手段を用いて信者に特定政党の支持を強制してはならないとした。

神道・仏教などの歴史的建造物・無形文化財・伝統芸能また、天皇の国事行為などへの援助は特定宗教への特権に当たらないと明記した。

労働組合も組合員に特定政党への支持を強制してはならないとした。

また、カルト宗教を取り締まれるように「公共の福祉」の規定を拡大した。

第4章 国会 も一部改定

参議院を廃止した。

参議院は55年体制の進展に連れて、政党化が進み衆議院のカーボンコピーと化して当初の目的である慎重な審議が形骸化しているし

金の無駄である。

ねじれ国会になったら審議が遅滞するからだ。

第6章 司法も一部改定

違憲立法審査権を憲法裁判所による抽象的違憲立法審査性とした。つまり、法律などが違憲かどうかは憲法裁判所を設けてそこが具体的事件に関係なく抽象的に審査するということだ。

軍法会議の設置を認めた。

これは軍を保持している国家なら当たり前のことだ。

軍というのは規律がなければただの暴力装置だ。

規律を維持するためにこそ軍法会議は近代国家において必置なのだ。

「……改正案の大枠は此の様にすることです。よろしいですね？」

「「「異議なし。」」」」

「はい、これで大枠は決まりました。

皆さん10月から今日までほぼ毎日お疲れ様でした。

しかし、これからが最も大事な詰め作業です。年末返上で頑張ります。しょう。」

今のこう言った俺の顔は、相当疲れている顔だと鏡を見なくとも自覚できるた。

委員の先生方も本当に疲れている顔をしている。

今現在、CLANNADの舞台になる光坂周辺には米軍横田基地がある。

なんとしても自主防衛を実現して返還を実現させなければならない。異国の軍隊、それも日本で裁くことのできない彼らをのさばらせるなるものか。

沖縄では最もそれがひどい事態で起っている。

だが、左翼たちの「そもそも軍隊がなければこんなことには……」には賛成できない。

世界政府なるものができない限り、この国際社会では自国を守るための軍隊は必要なのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1469y/>

パトリオット（愛国者）が転生する話

2011年11月18日05時10分発行